

## 地域包括ケア実習 I・II

### 授業概要

医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つの柱からなる地域包括ケアを担う医療・介護・福祉施設及び行政での実習を通して、地域包括ケアの担い手の様々な側面を理解するとともに地域における医療・介護・福祉施設及び行政の役割と在り方を考察し、地域包括ケアの従事者として必要な知識とノウハウを修得する。

### 担当教員

廣瀬 昌博 教授・地域医療政策学  
その他

### 授業の形式

実習

### 教育内容

#### 1. 地域包括ケア実習I（1年次）

本学医学部附属病院において4週間、県内の基幹病院において1週間、へき地診療所において1週間、島根県医療政策課、市町村役場、保健所において1週間、老人保健・介護・福祉施設において1週間、計8週間の実習を行い、地域包括ケアの現状、問題点およびその政策について学ぶ。

#### 2. 地域包括ケア実習II（2年次）

地域医療実習Iで学んだことを基に、さらに県内の本学医学部附属病院以外の都市部の病院において1週間、へき地基幹病院において2週間、へき地診療所において2週間、島根県医療政策課、市町村役場、保健所において2週間、老人保健・介護・福祉施設において1週間、計8週間の実習を行い、地域包括ケアの現状をより深く学ぶとともに、地域包括ケアに従事する多職種の役割と職種間の連携の必要性について学ぶ。さらに、地域包括ケアの従事者あるいは県市町村等の担当者として働く際のノウハウについて修得を目指す。実習は、地域医療実習I以外の施設で実施する。

### 成績評価の方法

実習態度とレポートにより評価する。

### 使用テキスト・参考文献

適宜参考文献を紹介する。

### 教育内容（実習）

実習の詳細については別途配付する

## 1 年次実習

実習内容	期間
島根大学医学部附属病院 <sup>1)</sup>	4 週間
地域医療機関 <sup>2)</sup>	2 週間
地域保健・福祉・厚生行政 <sup>3)</sup>	2 週間

- 1) 診療科、卒後臨床研修センター、地域医療教育研修センター、病院医学教育センター（医療安全政策室、感染政策室）、看護部、検査部、放射線部、薬剤部、リハビリテーション部、医療サービス課、患者相談室、院内保育所、ワークライフバランス支援室等
- 2) 病院実習（県立中央病院地域医療部またはへき地基幹病院）：1 週間、診療所実習（へき地診療所）：1 週間
- 3) 地域市町村役場・保健所、医療政策課等の保健・福祉・厚生行政実習：1 週間、老人保健・介護・福祉施設等実習：1 週間

## 2 年次実習

実習内容	期間
都市部医療機関 <sup>4)</sup>	1 週間
地域医療機関 <sup>5)</sup>	4 週間
地域保健・福祉・厚生行政 <sup>6)</sup>	3 週間

- 4) 島根大学医学部附属病院以外。診療科、看護部、検査部、放射線部、薬剤部、リハビリテーション部、医療サービス課、医療安全政策室、患者相談室、院内保育所、ワークライフバランス支援室等
- 5) 1 年次実習先以外で実習。病院実習：へき地基幹病院の 2 施設を 1 週間毎、合計 2 週間、診療所実習：へき地診療所の 2 施設を 1 週間毎、合計 2 週間
- 6) 1 年次実習先以外で実習。地域市町村役場・保健所、医療政策課等の保健・福祉・厚生行政実習：2 週間、老人保健・介護・福祉施設等実習：1 週間